

1 事業内容

団体名	クスろ
事業名	ワカモノ世代向け、釧路への「UIターン意欲向上」事業
課題テーマ	地域経済の活性化、地域を担う人材育成
事業提案の背景	<p>《これまでの活動から得た成果と課題》</p> <p>私たちはこれまで、観光資源としての「ひと」にフォーカスし、WEBサイト「クスろ港」、SNS(Facebook)、昨年度の取り組みである釧路の魅力的な人(クスろ人)に会いに行く宿泊型ツアー(ひとめぐりツアー)、クスろ人を紹介するフリーペーパー、ワークショップやイベントの企画等、様々なチャンネルで釧路の魅力と魅力的な「ひと」を釧路内外に発信し続けてきました。</p> <p>これらの活動の結果、定量的に評価できる項目としてFacebookページの「いいね！」数が前年度比160%増となったこと、「ひとめぐりツアー」のアンケート結果において「また来釧路したい」と回答した参加者が100%であったこと、各種メディアへの露出数が前年度比140%増となったことが成果として現れたと考えています。</p> <p>また、私たちはこれらの定量的な評価軸に加え、釧路の魅力的な「ひと」にフォーカスすることが、この釧路をこれまでの「食べる」「見る」とは異なる第三の軸、「出会う」という新しい軸でアピールできることを確信し、「ひと」にフォーカスした活動をより発展した形で世の中に発信したいと考えるようになりました。</p> <p>これまでの活動において前述の効果や気付きを得られた一方で、情報を発信する主体は地元釧路に精通したクスろメンバーであることから、発信する情報の幅や考え方の多様性、情報を届けられる層に偏りが生じる可能性があることを課題意識として感じるようになりました。</p> <p>《若い移住者の出現》</p> <p>この春、クスろメンバーが運営主体となっているゲストハウスのスタッフとして、2人のワカモノが釧路に移住してくれました。1人は、昨年秋に釧路に一週間滞在した際、クスろ人に直接出会った体験をきっかけに、もう1人はその体験を聞いたりホームページを見て興味を深めたことによって移住を決めてくれました。これまで釧路に縁もゆかりもなかった2人の眼に映る釧路は、きっと私たちの眼に映るそれとは異なることでしょう。私たちがこれまで気づいてこられなかった釧路の魅力、面白さ、強み、弱みが見つかるかもしれない。そこに私たちが持つ課題を解決するヒントと可能性があると感じました。</p> <p>また、移住者だけでなく、クスろがこれまで関わりを持たせていただいた地域の人々や学生のみなさん、釧路を離れてもなお釧路を愛する人々にも情報発信の担い手になってもらうことができれば、釧路の魅力をもっと多くの人々に届けることができることでしょう。</p> <p>《移住者主体の情報発信が持つ可能性》</p> <p>提供する情報の多様性を高め、これまで情報を届けられていなかった層に釧路の魅力に気づいてもらうために私たちができることについて議論した結果、移住者が主体となって情報を発信する場と媒体を作</p>

	<p>り出すことが必要、という結論に至りました。移住者目線の情報が北海道に移住する意思を持つ層、潜在的にUターンする意思を持つ層が釧路を発見・再発見するために有効と考え、移住者による情報発信を推進する事業を企画することとなりました。</p>
<p>事業目的</p>	<p>1. より多くの人に釧路市の魅力を伝えること WEB サイトでの情報発信に加え、紙媒体であるフリーペーパーでも情報発信することで、より多くの世代、より多くの場所に釧路市の魅力を伝えます。移住者に編集に加わってもらうことで、多様な視点による情報発信も可能になります。</p> <p>2. 釧路市をUターン先として魅力ある土地であることをアピールすること ワカモノ世代のUターンを増やすことは、「地域経済の活性化」、「次世代を担う人材育成」、「人材の多様性確保」に直接作用すると考えます。釧路市の魅力をワカモノ目線で発信し、釧路市を移住候補先として考える釧路ファン人口を増やします。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1. 釧路市の魅力を発信する2つのフリーペーパーの発刊 全国の人々が釧路市の魅力を発見する、そして、Uターンの希望を持つ人々が釧路市を移住候補地として捉えるきっかけを作ることを目的に、「ひと」と「移住」をキーワードとした2つのフリーペーパーを作成し、日本各地で頒布します。</p> <p>《フリーペーパーの概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ひとめぐり帖」 クスろ WEB サイトのコンテンツ、「ひとめぐり」の記事を再編集し紙媒体化することに加え、移住者が感じた釧路の人々の魅力をフリーペーパーとして発刊します。隔月での発刊を予定しています。 ●「くしろ移住日誌」 前述の2人の移住者が捉えた釧路の魅力や釧路での生活における気付きをフリーペーパー「くしろ移住日誌」として発刊します。《頒布場所について》 クスろが過去作製したフリーペーパーを置かせていただいた実績のある市内外(道外含む)の店舗、公共施設、観光施設、教育機関にお配りする予定です。それに加え、クスろと繋がりを持つ全国の団体にもお配りすることで、全国の人々が釧路市を認知する可能性を高めたいと考えています。 <p>2. 移住者によるイベント「くしろ移住ナイト」を開催 2017年春に釧路市に2人のワカモノが移住しました。2人が実際に感じた釧路市の魅力や生活をリアルタイムに発信するイベントを釧路、札幌、函館、東京で開催します。イベント概要および開催地毎の狙いは下記とします。</p> <p>《イベント概要》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 釧路の魅力や実際の生活を移住者の若者が発表 ● クスろメンバーによる釧路の魅力発信 ● フリートーク(釧路での生活や参加者が知りたい情報を座談会形式で提供)

	<p>《開催地毎の狙い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 釧路市 開催時期を進学や就職で釧路市を離れた学生やワカモノ世代の帰省が多い夏休み時期とし、Uターンの潜在的可能性を持つワカモノ世代が参加しやすいイベントとします。 ● 札幌 釧路市を訪れる機会の少ない道内出身のワカモノ世代、札幌圏の学校に進学した釧路および道外出身のワカモノ世代をターゲットとします。イベントの企画・推進は札幌在住のクスろメンバー(釧路市出身)を中心に行います。 ● 函館 釧路市を訪れる機会の少ない道内出身のワカモノ世代、道南地方の学校に進学した釧路および道外出身のワカモノ世代をターゲットとします。イベントの企画・推進は函館在住のクスろメンバー(釧路市出身)を中心に行います。 ● 東京 北海道移住に関心を持つ全世代、釧路市へUターンする潜在的可能性を持つワカモノ世代に釧路市を訪れるきっかけとなる情報に触れる場を提供します。イベントの企画・推進は東京在住のクスろメンバー(釧路市出身)を中心に行います。
<p>事業展開</p>	<p>【2017年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10月 「ひとめぐり帖」第8号発刊 移住ナイト in 釧路開催(2017/10/28) ● 11月 「ひとめぐり帖」第9号発刊 <p>【2018年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1月 移住ナイト in 東京第1回開催(2018/1/30) ● 3月 「ひとめぐり帖」第10号発刊 ● 移住ナイト in 札幌開催(2018/3/3) 移住ナイト in 東京第2回開催(2018/3/22) 移住ナイト in 函館開催(2018/3/25) 移住日誌「ひとめぐり帖番外編」発刊 ※「くしろ移住日誌」というタイトルを変更しました。
<p>成果目標の達成状況</p>	<p>1. 釧路市の魅力を発信する2つのフリーペーパーの発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ひとめぐり帖」 第8号を6,000部、第9号を6,000部、更に第10号を3,000部発刊し、市内およそ30箇所、市外(道外含む)およそ5箇所で頒布しました。また、移住ナイトや各種講演等などのイベントの際にも多数配布しています。前年度から合わせて計10号を発刊し、2年間継続して魅力的な「ひと」の情報発信を達成しています。 ● 移住日誌「ひとめぐり帖番外編」 釧路への移住をテーマにした移住日誌「ひとめぐり帖番外編」は、2,000部発刊しました。ひとめぐり帖と同様に、市内外の各所で頒布するとともに、今後のイベント開催時や講演の機会に配布予定です。釧路への移住に対する興味を惹き、理解を深めるため効果的な手段を確立することができました。

	<p>2. 移住者によるイベント「移住ナイト」を開催</p> <p>「移住ナイト」を4都市（釧路、札幌、函館、東京）で計5回開催し、延べおよそ40名（スタッフ、移住者を含む）が参加しました。釧路出身者など釧路に縁のあるワカモノへのUIターン推進だけでなく、釧路には一度も来たことがないという参加者まで含む、幅広い層のワカモノへ向けて釧路及び魅力的な「ひと」をアピールすることで、釧路への移住を選択肢の一つとして提案することができました。また、クスろメンバーが中心となり移住者の事例や意見を紹介することで、移住という大きな決断をより身近なものとして実感することを促すとともに、実際に交流の機会を設けることで、新たな「ひと」の繋がりを生み出すことができました。</p>
波及効果の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年「道新地域げんき大賞」の受賞 <p>上記事業及び平成26年からの継続的な活動により、「道新地域げんき大賞」を受賞しました。道内の各地域ごとに全11団体が受賞し、当団体は釧路・根室管内から選出されました。『げんきといえはクスろが思い浮かんだ』との所見をいただき、また、ワカモノによる活動という点も高く評価されました。同世代のワカモノが精力的に活動しているということ自体が若い移住者にとっては地域の魅力のひとつであり、移住を選択肢として考えている人へのアピールとなったと考えています。</p> ●各種メディアへの掲載 <p>上記事業及び平成26年からの継続的な活動により、クスろによる活動などについて、当事業実施期間中の新聞への掲載は7回、雑誌への掲載が2回、計9回（他団体との共同事業含む）ありました。特に雑誌では「北海道生活 vol.60 8-9月号」（平成29年7月28日発売）及び「スロウ52号」（平成29年7月25日発売）また、事業実施期間外ではありますが、1999年創刊、発行部数100,000部である株式会社木楽舎発行「ソトコト5月号」（平成29年5月1日発売）へ掲載されたことについては、特に大きな反響がありました。</p> ●講演の実施 <p>上記事業及び平成26年からの継続的な活動により、教育機関をはじめとする様々な団体等へ講演等を行う機会が多くありました。当事業実施期間中に計6回の講演やトークイベントを実施し、日本各地のワカモノや未来を担う子どもに対し、当事業をはじめとするクスろの活動の魅力を発信し、親しみを感じていただくきっかけづくりや関係性の構築ができました。</p> ●クスろ運営スタッフの増加 <p>上記事業及び波及効果により、平成29年11月よりクスろ運営スタッフ2名が加わり、地域の魅力発信に関わる新たな人材を確保することができました。</p> <p>うち1名は「移住ナイト in 釧路」への参加が決め手となりスタッフとして加わることを決断し、もう1名もクスろの講演をきっかけに当該イベントの内容や実施状況を知ったことから、参加を決断しました。</p>

<p>実施体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各種フリーペーパーとイベントの企画・推進および予算管理、収支報告等の事務作業はクスろメンバーが担当します。 ●フリーペーパーのコンテンツ制作およびイベントにおけるプレゼンターに釧路への移住者を迎え、クスろメンバーはその活動をサポートします。
<p>連携した市担当課</p>	<p>無 ・ 有 (市民協働推進課)</p>
<p>連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長期滞在、移住、観光に関する部署室への取次ぎ ●手続き等のサポート ●市の運営する施設でのフリーペーパー設置・配布

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	400,000 円	輝くまちづくり交付金
自己資本	177,870 円	
合 計	577,870 円	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	205,735 円	・『「ひと」めぐり帖』全10号印刷 ・「移住冊子」刷
委託料	130,000 円	・フリーペーパーの紙面デザイン制作 ・ライティング
使用料・賃借料	11,900 円	・「移住ナイト」会場使用料
旅費	207,530 円	・打ち合わせ・イベント開催に伴う移動交通費
消耗品費	4,432 円	・「移住ナイト」開催に伴う消耗品費
役務費	18,273 円	・支払い手数料 ・『「ひと」めぐり帖』発送料
小 計	577,870 円	
対象外経費		
	-	なし
小 計	-	
合 計	577,870 円	